

実行委員会 2024年7月現在

【委員長】 中條 武志 中央大学 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科 教授

【委員】 相見 健司 公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会 担当部長
池田 あゆみ 公益財団法人 自動車技術会 規格グループ 次長
井上 善海 法政大学大学院 政策創造研究所 教授
井上 博貴 住友化学株式会社 レスポンシブルケア部(品質保証) 担当部長
木澤 正 高圧ガス保安協会 ISO審査センター 調査役
越川 哲哉 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 標準化センター事務局 事務局長
高橋 徹 公益財団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 元理事
富岡 伸一 サントリーマーケティング&コマース株式会社 品質保証推進部 技術顧問
中野 奈津美 株式会社高島屋 美術担当顧問
星川 安之 公益財団法人 共用品推進機構 専務理事・事務局長
前川 徹 東京通信大学 情報マネジメント学部 教授
村川 賢司 村川技術士事務所 所長
山本 宏史 TOTO株式会社 技術本部 生産技術推進部 参与

後援

- 経済産業省
- 金融庁
- 厚生労働省
- 国土交通省
- 消費者庁
- 総務省
- 農林水産省
- 公益社団法人 経済同友会
- 一般社団法人 国際標準化協議会
- 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- JIS登録認証機関協議会
- 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
- 中央労働災害防止協会
- 独立行政法人 統計センター
- 株式会社 日刊工業新聞社
- 一般財団法人 日本科学技術連盟
- 日本クオリティ協議会
- 一般社団法人 日本経済団体連合会
- 日本商工会議所
- 公益財団法人 日本生産性本部
- 一般社団法人 日本品質管理学会
- 一般社団法人 品質工学会
- モノづくり日本会議

協賛

- 一般財団法人 エンジニアリング協会
- 一般財団法人 化学物質評価研究機構
- 化成工業協会
- 紙パルプ技術協会
- 一般社団法人 火力原子力発電技術協会
- 公益財団法人 共用品推進機構
- 一般社団法人 軽金属製品協会
- 一般財団法人 建材試験センター
- 高圧ガス保安協会
- 一般社団法人 産業環境管理協会
- JIS懇話会
- 公益社団法人 自動車技術会
- 公益社団法人 消費者関連専門家会議
- 一般社団法人 情報科学技術協会
- 一般社団法人 情報処理学会
- 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
- ステンレス協会
- 公益社団法人 精密工学会
- 一般社団法人 セーフティグローバル推進機構
- 公益社団法人 石油学会
- 石油連盟
- 一般社団法人 セメント協会
- 全国生コンクリート工業組合連合会
- 公益財団法人 鉄道総合技術研究所
- 一般財団法人 電気安全環境研究所
- 一般社団法人 電気学会
- 一般社団法人 電子情報技術産業協会
- 一般社団法人 電子情報通信学会
- 一般社団法人 電池工業会
- 一般社団法人 日本アルミニウム協会
- 一般財団法人 日本ウエザリングテストセンター
- 一般社団法人 日本運搬車両機器協会
- 一般社団法人 日本エネルギー学会
- 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
- 一般社団法人 日本化学工業協会
- 一般社団法人 日本環境測定分析協会
- 一般社団法人 日本機械学会
- 日本金属継手協会
- 一般社団法人 日本金属熱処理工業会
- 一般社団法人 日本クレーン協会
- 公益社団法人 日本経営工学会
- 一般社団法人 日本計量機器工業連合会
- 一般社団法人 日本計量振興協会
- 日本水晶デバイス工業会
- 公益社団法人 日本下水道協会
- 一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会
- 一般社団法人 日本建設業連合会
- 一般社団法人 日本航空宇宙工業会
- 一般社団法人 日本工作機械工業会
- 一般社団法人 日本工作機器工業会
- 一般社団法人 日本ゴム工業会
- 公益社団法人 日本材料学会
- 一般社団法人 日本産業機械工業会
- 一般社団法人 日本産業車両協会
- 一般社団法人 日本情報経済社会推進協会
- 一般社団法人 日本照明工業会
- 公益社団法人 日本食品衛生学会
- 公益社団法人 日本食品衛生協会
- 一般社団法人 日本伸銅協会
- 公益社団法人 日本水道協会
- 公益社団法人 日本設計工学会
- 公益社団法人 日本騒音制御工学会
- 一般社団法人 日本塑性加工学会
- 日本暖房機器工業会
- 一般社団法人 日本鉄鋼協会
- 一般社団法人 日本鉄鋼連盟
- 一般社団法人 日本鉄道車輛工業会
- 一般社団法人 日本電気協会
- 一般社団法人 日本電気計測器工業会
- 一般社団法人 日本電機工業会
- 一般社団法人 日本電気制御機器工業会
- 一般社団法人 電気設備学会
- 一般社団法人 日本電線工業会
- 一般社団法人 日本時計協会
- 一般社団法人 日本トライボロジー学会
- 一般社団法人 日本塗料工業会
- 日本内燃機関連合会
- 一般社団法人 日本ねじ研究協会
- 一般財団法人 日本燃焼機器検査協会
- 一般社団法人 日本配線システム工業会
- 一般社団法人 日本バルブ工業会
- 一般社団法人 日本物流システム機器協会
- 日本プラスチック工業連盟
- 一般社団法人 日本フルードパワー工業会
- 一般財団法人 日本文化用品安全試験所
- 一般社団法人 日本ベアリング工業会
- 公益社団法人 日本保安用品協会
- 一般社団法人 日本ボイラ協会
- 一般社団法人 日本防錆技術協会
- 公益社団法人 日本包装技術協会
- 一般社団法人 日本溶接協会
- 一般社団法人 日本冷凍空調工業会
- 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会
- 一般社団法人 日本ロボット工業会
- 一般財団法人 バイオインダストリー協会
- 一般財団法人 光産業技術振興協会
- 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
- 一般財団法人 マイクロマシンセンター

産業標準化推進月間事業

標準化と品質管理

全国大会 2024

一般申込	
11,000円(税込)	
維持会員の方	
ご加入1口につき1名様	無料 ※8月上旬頃にご招待のご案内をいたします。
口数以上のお申込	5,500円(税込) / 1名様

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日にならぬようご注意ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

標準化と品質管理 地区大会 2024 スケジュール

- 北海道地区大会(札幌) 10月18日(金) 北海道経済センター
- 東北地区大会(仙台) 10月31日(木) 仙台市中小企業活性化センター
- 中部地区大会(名古屋) 10月16日(水) 今池ガスビル
- 近畿地区大会(大阪) 10月 9日(水) ドーンセンター
- 中国地区大会(広島) 10月11日(金) 広島県民文化センター
- 四国地区大会(高松) 10月17日(木) サンポートホール高松
- 九州地区大会(福岡) 10月30日(水) 福岡国際会議場

維持会員のご案内	
維持会員制度は、当協会の事業目的に対してご理解いただける方に、私どもが取組む標準化推進活動をご支援いただくための制度です。当協会は、会員の皆さまとのコミュニケーションを深め、会員の皆さまから、より一層のご支援が得られるような活動に取組んでまいります。皆さまの維持会員制度へのご参加を、お待ち申し上げております。	詳しくは JSA Webdeskを ご覧ください。
<p>[会費] 1口につき年額2万円(不課税)</p> <p>[特典] ●特別割引にて規格をご購入いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当協会主催の品質管理及び標準化に関する講習会・セミナーに特別割引にてご参加いただけます。 ●当協会主催の「標準化と品質管理全国/地区大会」に1口につき1名様を無料でご招待いたします。 ●JSA Webdesk 維持会員専用サービスがご利用いただけます。 	

お申込はWEBで **SQ 大会 2024** **検索**  <https://www.jsa.or.jp/>

ウェルビーイング

共創で実現するWell-beingな社会

ー変化・多様化する社会における標準化と品質管理の在り方ー

標準化と品質管理全国大会は、幅広い分野から多彩な講師をお招きし、毎年10月に開催しております。

本年度は「共創で実現するWell-beingな社会」をテーマに、

各組織の標準や品質に関わる取組みや最新動向、戦略などを幅広くご紹介いたします。

皆さまの業務にお役に立つ講演をご用意いたしました。是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

全国大会(東京)
10月7日(月) 9:50~17:30
(終了後、名刺交換会を実施予定)

都市センターホテル

産業標準化事業表彰表彰式及び特別シンポジウム(仮)

10月8日(火) / 都市センターホテル

会場

都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1

アクセス

- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅
4番・5番出口より徒歩約4分、9b番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 有楽町線「麹町」駅 半蔵門方面1番出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅 D出口より徒歩約8分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

お申し込みされた方は、後日、講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。

標準化と品質管理 全国大会 2024 プログラム

9:50
～
10:00

主催者挨拶・開会宣言

基調講演 I

(仮)「日本型標準加速化モデル」の実現に向けて

経済産業省
イノベーション・環境局
基準認証政策課長
有馬 伸明

グローバル市場の変化を踏まえ、標準化活動は、経営戦略と一体的かつ能動的に取り組むことがこれまで以上に重要となっています。政府としても「日本型標準加速化モデル」(2023年6月)にて官民各主体の取組方針を示し、具体的な施策を推進してきたところです。本講演では、これまでの政府の取組の進捗をご紹介しますとともに、今後の展望についてお話しします。

基調講演 II

IECの最新動向と今後の展望

国際電気標準会議(IEC)
副会長兼市場戦略評議会議長
三菱電機株式会社
特任技術顧問
堤 和彦

個々のTCでの国際規格開発の視点ではなく、IEC(国際電気標準会議)役員としての視点から見た、IECの活動の最新動向と今後の展望についてお伝えします。特にIECが力を入れているサステナビリティ、ウェルビーイングなどへの課題に向けた取り組みと、市場戦略評議会(MSB)の活動からのフロントローディングを活用した国際規格開発への新しい流れについて紹介します。

基調講演 III

日本再生に必要な標準化と品質管理

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
統計数理研究所長
椿 広計

日本の信頼性を揺るがす不祥事が相次いでいます。今こそ、先人が築いたSDCA(標準化-実施-チェック-アクション)サイクルに基づく品質経営と、経営改革の核たる方針との融合が肝要です。標準を守ることは当然ですが、企業活動の問題を可視化し、活動の設計図たる標準を改善し、あるべき標準に基づく活動を社内外に示すことが経営の責務であり、本講演ではその筋道を紹介します。

11:50
～
12:50

昼休憩(60分)

専門家
品質、標準、品質基準・品質管理

玩具における製品安全対策、PDCAサイクルそしてグローバル化の時代に向けて

株式会社バンダイ
プロダクトマネジメント部品質保証チーム
マネージャー
穴井 琢

子供向けの玩具を送り出す品質マネジメントシステムの構築を続けた結果、製品安全対策優良企業表彰を3回いただき、2015年にゴールド企業となりました。皆様との取り組みの一助となるべく、子供たちが「安全・安心」に遊べる商品を提供するためのPDCAを回せる環境づくりを中心に、グローバル化に向けて進化を続ける株式会社バンダイの品質マネジメントシステムのご紹介をさせていただきます。

管理職層
品質、未然防止、予防処置・是正処置・再発防止

未然防止で実現するトラブル・事故ゼロの現場～なぜ、根本原因(真因)追及がうまくいかないか～

未然防止研究所
代表
林原 昭

私たちのまわりでは、さまざまな業務上のトラブルや事故が起こっています。そのたびに再発防止が叫ばれていますが、一向にその再発が止まりません。それは、トラブルの根本原因が追究されず、安易な再発防止策が講じられ、さらには未然防止ができていないからです。本講演では、独自に体系化した未然防止3ステップの概要に続いて、再発防止で重要な根本原因の追究方法と未然防止で大切な将来リスクに気付く方法をお伝えします。

パネルディスカッション

AI時代における標準化・法制度の役割・可能性

AI技術はここ数年で飛躍的な進歩を遂げており、私たちの生活にも大きな変化をもたらしています。本パネルディスカッションでは、研究・ビジネス、標準化、法律・制度、セキュリティなど多様な分野の専門家をお招きして、最新のAI技術の動向に標準化が深く寄与していることや、標準化・規制・認証の活用がキー要素となることをご紹介します。共に、AI利用における現在の課題や今後の展望について討論いただきます。

<ファシリテーター>
東京通信大学
情報マネジメント学部 教授
前川 徹

<パネリスト(順不同)>
一般社団法人日本経済団体連合会
デジタルエコノミー推進委員会 国際戦略WG主査
永沼 美保

16:20
～
17:10

源美坂井法律事務所・
外国法共同事業 パートナー
三部 裕幸

株式会社GenesisAI
代表取締役社長/CEO
今井 翔太

独立行政法人
情報処理推進機構
デジタル基礎センター長
平本 健二

一般財団法人
日本情報経済社会推進協会
常務理事
坂下 哲也

17:30
～
18:30

【聴講対象】

入門 入門・学生・一般

経営層 経営層

管理職層 管理職層

専門家 専門家(品質管理・設計・開発・営業)

管理職層
品質、人材育成、品質管理検定

NECプラットフォームズ(株)における「現場向上」の取組み～QC検定の有効活用～

NECプラットフォームズ(株)
福島工場 社会インフラ生産部 部長
阿部 泰巳

福島工場は2000年頃から生産革新を導入し、効率化改善や自動化に取り組んできました。今迄はトップダウンの傾向が強い活動でしたが、現場を肌で感じているマネージャー以下からのボトムアップをつまみ合わせさせるために、2021年度に製造改革会議(MP)を組織し活動を開始。5つのテーマを掲げて解決に取り組み始めました。このテーマの一つに人材育成があり、現場で働く全員が品質管理の基礎知識習得と改善の実践、更には個々の成長を目的として、QC検定の受検を推進してまいりました。その経過と成果について発表します。

経営層
SDGs、環境、サービス

全ては「人間の生命(いのち)の輝き」のためにーサントリーグループのパーパス経営ー

サントリーホールディングス株式会社
執行役員 コミュニケーションデザイン本部長
兼 宣伝部長
鈴木 あき子

サントリーグループは「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、「人間の生命(いのち)の輝き」をめざす」をパーパスに掲げています。原料となる水資源を守る活動も、商品や飲み方提案を通じてお客様に生活に彩りをお届けすることも、全てはこのパーパスにつながっています。「水と生きる」コミュニケーションや角ハイルボール立ち上げ事例を通じて、バリューチェーン全体におけるパーパスの重要性をお伝えします。

入門
国際規格開発動向、災害食、認証

災害時の食の規格、国際化へ

(一社)日本災害食学会
理事・副会長
別府 茂

災害時の食には賞味期間の長さだけでなく、被災者のニーズと健康を守るために食品の安心、安全の条件を明らかにすること、また乳幼児や高齢者などの平時から食に配慮が必要な被災者への対応も必要です。日本災害食学会が制定した災害食認証規格に加え、おもしろ認証規格という民間認証制度の活用が進む中、国際規格(ISO)の検討も始まったことから災害食の新しい規格の方向性を紹介します。

入門
SDGs、環境、ポストコロナ・安全

万博ブルーオーシャン+グローバルビジネスと標準化のタスク

サラヤ株式会社
代表取締役社長
更家 悠介

サラヤ(株)は、2025年大阪・関西万博で、私が理事長を務めるNPO法人ゼリ・ジャパンが展開する「ブルーオーシャンドーム」を支援します。なぜブルーオーシャンドームの支援に至ったか、またこの万博を機に、2030年SDGs終了年に向けて、海の持続可能性や持続可能なグローバルビジネスに挑戦するお話をします。その際の商品の規格や標準化の必要性について、ビジネスの苦労や今後の取るべき対応などについてもお話しします。

名刺交換会 参加者、講演者、主催者の交流を目的に名刺交換会を実施いたします。ぜひご参加ください。

ご注意

- 講演時間・講演タイトル・講演者・会場は都合により変更する場合があります。
- 最新のプログラムは、当会Webサイト(https://www.jsa.or.jp/)をご参照ください。
- 各講演は事前予約制ではありません。当日、ご自由に講演をお選びいただくことができます。
- 会場で聴講の場合は、会場によって満員となる可能性もございますので、あらかじめご了承ください。
- お申し込みされた方は、後日、講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。
- 報文集は紙での提供はいたしません。必要に応じてダウンロード・印刷してご持参ください。**
- ライブ配信は行いません。

入門
品質、サービス、TQM

楽天グループの品質管理と標準化の取り組み

アーカイブ動画なし

楽天グループ株式会社
グループ品質部 グループTQM推進室 室長
(兼務)グループサービス品質強化室 室長
(兼務)グループ業務品質強化室 室長
都築 郁雄

楽天グループは、「イノベーションを通じて、人々と社会をエンパワメントする」という企業理念のもと、Eコマースをはじめ、フィンテック、デジタルコンテンツ、昨今では携帯キャリア事業など70以上のサービスを提供しています。多様化する社会において、多岐にわたる分野でサービスを提供する企業である楽天グループが進める品質管理と標準化の取り組みについて、事例と共に紹介します。

専門家
標準化戦略、特許と標準化、国際標準化

「知財・標準化戦略」による技術の価値向上

三菱電機株式会社
開発本部 主席技監
杉浦 博明

知財戦略と標準化戦略を整合させることにより技術・製品・サービスの価値を高め企業の収益を向上させる方策について具体的な事例に基づき解説します。具体的には、標準/特許の関係タイプ分けし、各々のタイプにおける標準の特徴・特許の利用法について整理し、タイプ別における利益の源泉について分析します。特に自社特許技術等を際立たせる標準の有効性に注目しそれに関する個々の具体的な事例についていくつか解説します。

経営層
標準、新市場創造型標準化制度、標準化のビジネス活用

新市場創造型標準化制度を活用したビジネス戦略～炭素繊維複合材料の新たな市場を創出!

小松マテール株式会社
理事 技術開発本部 本部長補佐
兼 新規事業開発部長
奥谷 晃宏

当社は炭素繊維より線材を耐震補強用に開発しましたが、新材料は拡がりませんでした。そこで新市場創造型標準化制度を活用し耐震補強材として標準化を行いました。地震国日本には高度成長期に建設された古い工場建物が多く現存します。JISに適合した炭素繊維より線材を用いて工場稼働を止めない耐震補強工法を開発し、第3者認証に挑戦しています。古い工場建物を持つ経営者に新たな選択肢を提供することで新市場を創造し社会貢献を達成したいと考えています。

管理職層
JISマーク、品質、審査

JISマーク表示制度～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～

JIS登録認証機関協議会
株式会社マネジメントシステム評価センター
製品認証部長
塩崎 修男

原材料調達や価格高騰、気候変動、労働時間規制、デジタル化への対策など、製造業をとりまく環境は大きく変化しております。JIS認証工場は、効率化を進めつつ、JISマーク製品の信頼性を確保し、品質を維持向上することが求められています。認証審査の現場での事例をご紹介します。適切な品質管理の維持に向け、その

※16:20～17:30

入門
SDGs、標準、ユニバーサルデザイン

花王インハウスデザイナーの「よきモノづくり」

アーカイブ動画なし

花王株式会社
作成センター 商品デザイン作成部
デザインソリューショングループ
クリエイティブマネージャー
平田 智久

花王株式会社には約100年前から社内クリエイティブ部門があり、インハウスでデザインを開発してきました。私が所属するデザインソリューショングループは、「シャンプーのキザミ」を開発したグループが起源となります。弊社のESG戦略に沿ったユニバーサルデザインなどのデザイン開発事例を交えながら、現在のインハウスデザイナーの視点、役割、デザインプロセスを中心に花王の「よきモノづくり」を紹介します。

管理職層
標準、品質、サービス産業

落語における品質と標準化 誰もが楽しめる落語とは

一般社団法人落語ユニバーサルデザイン推進協会
代表理事
春風亭昇吉

落語はいまから400年前に生まれ、時代に応じてカタチを変えながら日本人に愛されてきました。今回の講演では、その歴史と落語の変遷、また新しい時代に適合した近未来の落語の形式について、諸側面からお話ししたいと思います。AIなどのデジタル技術の進歩、また、新しいコンプライアンスの状況下でのなかで、誰もが楽しめる落語とはどんなものなのかを考えてみたいと思います。

入門
AI、IoT、協調安全

生産年齢人口減少課題に対する人機協調技術と協調安全の標準化

国立研究開発法人産業技術総合研究所
情報・人間工学領域
インダストリアルCPS研究センター
研究センター長
谷川 民生

我が国の大きな社会的課題として生産年齢人口減少による生産力の低下が挙げられます。この課題に対し、IoT、AI、ロボット技術の活用が期待されています。一方、従来の大量生産から変種変量生産に変化することで、人の柔軟性とロボットの生産性を組み合わせ、人・機協調技術およびその安全基準である協調安全という概念が検討されています。本講演ではそこで使われている技術や活動概要について紹介します。